

在宅療養支援病院に係る報告書 (令和7年8月1日現在)

保険医療機関名

医療機関コード

- 別添1の「第14の2」の1の(1)
- 別添1の「第14の2」の1の(2)
- 別添1の「第14の2」の1の(3)

に規定する在宅療養支援病院
※ 届出している区分のいずれかに☑を入れてください。

I. 直近1年間(令和6年8月1日～令和7年7月31日)に在宅療養を担当した患者について

1 平均診療期間	<small>※在宅医療を開始してからの診療期間を患者ごとに算出〔在宅医療の開始月と終了月をそれぞれ算入のこと。(期間が月を跨っている場合は2ヶ月と計算する。)〕し、保険医療機関における平均診療期間を月単位で計上してください。</small>	(ヶ月)
2 合計診療患者数		(名)
【再掲】死亡患者数	①+②+③+④	(名)
(1) うち医療機関以外での死亡者数	①+②	(名)
ア うち自宅での死亡者数	①	(名)
イ うち自宅以外での死亡者数	②	(名)
(2) うち医療機関での死亡者数	③+④	(名)
ア うち連携医療機関での死亡者数	③	(名)
イ うち連携医療機関以外での死亡者数	④	(名)
超重症児又は準超重症児の患者数 (15歳未満であって、3回以上定期的な訪問診療を実施し、在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料を算定したものに限る。)		(名)

- ※ Iの1の「平均診療期間」は、患者1人当たりの在宅医療を開始してからの平均診療期間を月単位で記載してください。
- ※ Iの2(1)の「うち医療機関以外での死亡者数」を記入するに当たり、介護老人保健施設等の入所施設で死亡した患者については、「イ うち自宅以外での死亡者数」欄へ計上してください。
- ※ Iの2(2)の「連携医療機関」とは、事前に緊急時の受入を届出ている医療機関であり、在宅支援連携体制についても含むものです。

II. 直近1年間(令和6年8月1日～令和7年7月31日)の訪問診療等の実施回数について

訪問診療等の合計回数	(1) 往診	【再掲】	(2) 訪問診療	(3) 訪問看護 (緊急を含む)
		うち緊急の往診		
①+②+③ (回)	① (回)	(回)	② (回)	③ (回)

- ※ IIの「うち緊急の往診」については、緊急又は夜間・休日若しくは深夜に行った往診を計上してください。

(次ページは、別添1の「第14の2」の1の(1)又は(2)に規定する在宅療養支援病院のみ記入してください。)

※ 以下の欄は「別添1の「第14の2」の1の(2)」に規定する在宅療養支援病院は 1~8 を、
 「別添1の「第14の2」の1の(1)」に規定する在宅療養支援病院は 5~8 のみ記入してください。

Ⅲ. 在宅支援連携体制について

1	在宅医療を担当する常勤の医師数	(名)
2	連携する保険医療機関数	(医療機関)
3	直近1年間のカンファレンスの開催状況	(回)
4	貴院と連携する医療機関の実績をとりまとめ、別紙様式11の4「在宅支援連携体制に係る報告書」を提出する医療機関名及び住所		連携する医療機関のコード番号	
5	地域ケア会議、在宅医療・介護に関するサービス担当者会議又は病院若しくは介護保険施設等で実施される他職種連携に係る会議への出席回数(直近1年間)	(回)
6	往診・連絡体制構築のために協力している在宅療養移行加算を算定する診療所	(医療機関)
7	在宅療養支援診療所等からの要請により患者の受入れを行う病床を常に確保している	<input type="checkbox"/>	該当する	
8	在宅療養支援診療所等からの要請により患者の緊急の受入れを行った回数(直近1年間)	(回)

※ Ⅲの「在宅支援連携体制について」を記載するに当たっては、自院を含めた数を記載してください。

「別添1の「第14の2」の1の(2)」に規定する在宅療養支援病院のうち、連携する医療機関の実績をとりまとめる医療機関は、様式11の4「在宅支援連携体制に係る報告書」も記入し、様式11の3と併せて提出してください。

医療機関コード	
---------	--